

HIWIN Technologies は S&P Global 社の「The Sustainability Yearbook 2026」に2年連続選出されました

世界トップクラスのシェアを誇る直動製品の他、モーションコントロールに関わる精密機器や産業用ロボットなど幅広い製品の開発、製造、提案、販売、メンテナンスを手掛ける精密部品・機器メーカーのハイウィン株式会社（本社：兵庫県神戸市西区、代表取締役：林育志）のグローバル本社である HIWIN Technologies（台湾・台中）は、S&P Global 社の「The Sustainability Yearbook 2026」に2年連続選出されました。



■製造業界においても ESG への要求は高まってきている

昨今、製造業界限では、環境（Environment）へ配慮した製品だけでなく、人権や労働環境などの社会（Social）や、ガバナンス（Governance）に関連した情報開示など、企業に対し強く求められるようになってきています。

製品の性能だけではなく、企業が責任ある行動をとっているかどうか、評価の重要な基準の一つとなりつつあります。こうした背景から、ESG への取り組みが企業の持続可能性の指標として注目され、サプライチェーン全体においても重要な判断基準となっています。

■S&P Global 社発行「The Sustainability Yearbook 2026」に2年連続選出



この度、HIWIN Technologies は S&P Global 社が発行する「The Sustainability Yearbook 2026」に2年連続で選出されました。これは、世界の主要企業を対象に ESG の取り組みを評価し、上位企業を掲載するものです。また、S&P Global 社が実施する「Corporate Sustainability Assessment (CSA)」において、HIWIN Technologies は Score83/100 で世界 TOP 1%に位置付けられました。

本件に関するお問合せ先

ハイウィン株式会社 マーケティング企画課

e-mail : kikaku@hiwin.co.jp TEL : 078-997-8827 (代表)

機械・電機セクターで TOP 1%に選出されたのは世界で 2 社のみであり、当グループの取り組みが国際的な評価に照らし合わせ、一定の水準に達していることが示されたと考えています。

■HIWIN グループの取り組み

HIWIN グループとしては、2050 年までに温室効果ガス排出量ネットゼロの達成を目標として掲げ、環境負荷低減に向けた取り組みを行っています。その取り組みの一つとして、グローバル本社は、科学的根拠に基づく排出量削減目標を設定する SBTi (Science Based Targets initiative) に署名をしています。

日本法人である当社も ISO14064 規格に基づき、排出量の可視化と削減に向けた活動を継続しています。

今後も引き続き、社会的責任を果たす企業として、ESG 活動に取り組んでまいります。

【ハイウィン株式会社について】

HIWIN (ハイウィン) は台湾、台中に本社 (資本金約 160 億円、従業員約 6,400 名) を置き、日本の他に世界 12 か国に拠点を持つグローバル企業です。社名でありブランド名である HIWIN は「With us, you are a HI-tech WINner. (当社とともに、ハイテク分野の勝者になっていただきたい)」という思いが込められています。ボールねじ、リニアガイドウェイなどの直動機器を主力製品に、工作機械、自動車、半導体および半導体製造装置の世界有数メーカーへ納入実績を積み上げ、優良パートナー企業へと躍進しています。(ISO9001, ISO14001, ISO45001 認証取得) 1999 年に設立された日本法人、ハイウィン株式会社は本社を兵庫県神戸市西区に構え、日本全国 10 か所に営業拠点を配置しています。豊富な製品バリエーションと世界最高クラスの生産キャパシティで、直動製品の安定供給だけでなく、あらゆる自動化ニーズに対応し次世代ものづくりを支えています。

本件に関するお問合せ先

ハイウィン株式会社 マーケティング企画課

e-mail : kikaku@hiwin.co.jp TEL : 078-997-8827 (代表)